

みやぎの交通事故

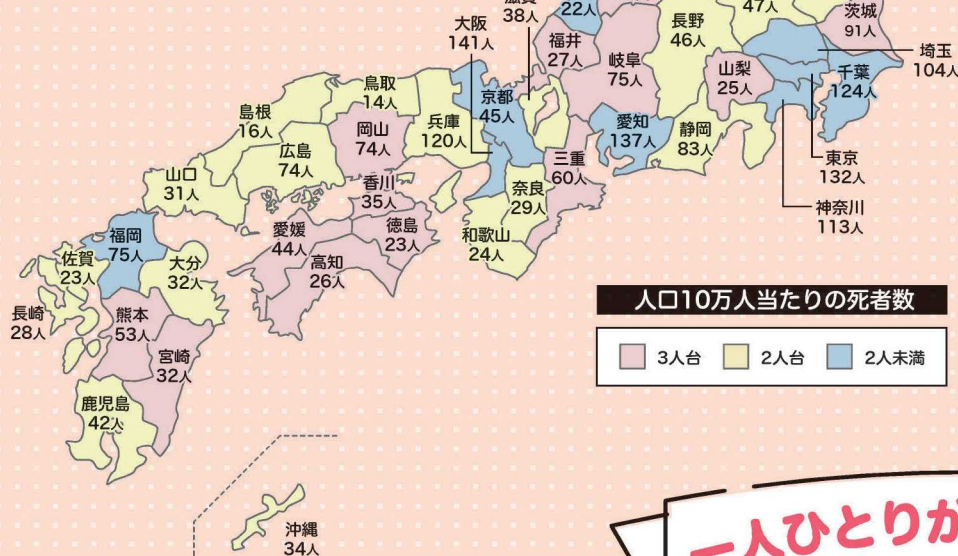
令和4年中

都道府県別交通事故死者数

人口10万人当たりの死者数

順位	都道府県名	人数	順位	都道府県名	人数
1	岡山	3.94	25	鳥取	2.55
2	岐阜	3.82	26	青森	2.54
3	高知	3.80	27	山形	2.46
4	香川	3.72	28	群馬	2.44
5	福井	3.55	29	島根	2.41
6	秋田	3.49	30	山口	2.33
7	三重	3.42	31	沖縄	2.32
8	愛媛	3.33	32	静岡	2.30
9	富山	3.32	33	長野	2.26
10	徳島	3.23	34	北海道	2.22
11	茨城	3.19	35	兵庫	2.21
12	山梨	3.11	36	奈良	2.21
13	岩手	3.09	37	長崎	2.16
14	熊本	3.07	38	千葉	1.98
15	宮崎	3.02	39	石川	1.96
16	大分	2.87	40	愛知	1.82
17	佐賀	2.85	41	京都	1.76
18	新潟	2.80	42	宮城	1.62
19	滋賀	2.69	43	大阪	1.60
20	鹿児島	2.66	44	福岡	1.46
21	広島	2.66	45	埼玉	1.42
22	和歌山	2.63	46	神奈川	1.22
23	栃木	2.60	47	東京	0.94
24	福島	2.59		全国	2.08

※人口は、令和3年10月1日現在の推計人口（総務省）



警察署別の死者数

警察署	死者数	警察署	死者数
仙台中央	2	南三陸	0
仙台南	4	古川	1
仙台北	0	遠田	0
仙台東	2	若柳	0
泉	3	築館	1
若林	2	鳴子	0
塩釜	3	加美	0
大和	2	岩沼	1
石巻	6	大河原	1
気仙沼	2	白石	1
佐沼	0	角田	3
登米	1	亘理	0
河北	0	高速隊	2
合計	37		

一人ひとりが身につけよう
ルールとマナー

宮城県警察本部

交通事故発生状況（宮城・東北・全国）

	区 分	令和 4 年	令和 3 年	増減数	増減率	1 日当たり
宮城県	発生件数	4,117	4,286	-169	-3.9	11.3
	死者数	37	42	-5	-11.9	0.10
	負傷者数	4,912	5,182	-270	-5.2	13.5
東北	発生件数	14,832	15,792	-960	-6.1	40.6
	死者数	211	207	4	1.9	0.58
	負傷者数	17,529	18,651	-1,122	-6.0	48.0
全国	発生件数	300,839	305,196	-4,357	-1.4	824.2
	死者数	2,610	2,636	-26	-1.0	7.15
	負傷者数	356,601	362,131	-5,530	-1.5	977.0

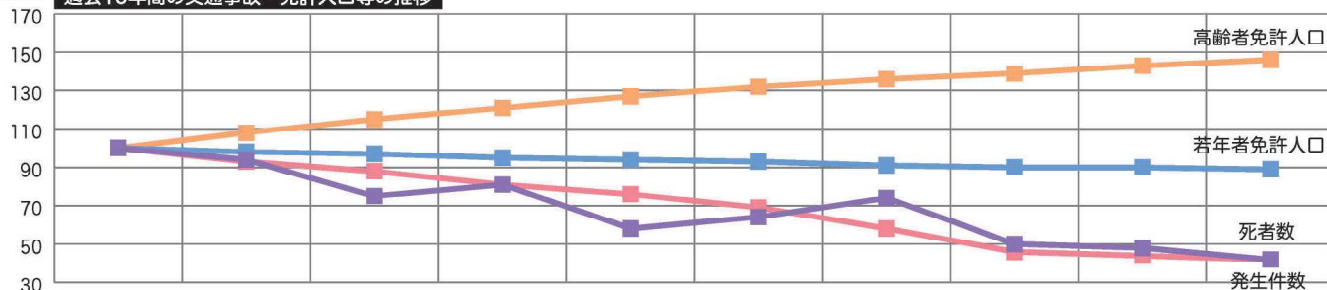
令和 4 年度
宮城県交通安全ポスター作文コンクール
入賞作品（宮城県知事賞）



大和町立小野小学校 5 年 及川 結月さんの作品

宮城県の交通情勢の推移

(指数) 過去10年間の交通事故・免許人口等の推移



区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
交通事故	発生件数	9,851	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117
	死者数	88	83	66	71	51	56	65	44	42	37
	負傷者数	12,651	11,703	10,913	10,057	9,353	8,509	6,941	5,483	5,182	4,912
	免許人口	1,527,419	1,535,502	1,539,353	1,542,955	1,545,353	1,546,701	1,544,213	1,542,518	1,541,377	1,540,919
	若年者	120,394	118,427	116,554	114,591	113,011	112,074	109,733	108,706	108,016	107,546
	高齢者	258,601	279,482	297,209	312,391	327,244	340,355	350,534	360,364	369,586	377,290
	車両台数	1,820,635	1,846,864	1,859,367	1,863,192	1,867,411	1,865,935	1,864,810	1,858,974	1,859,448	1,857,075

※若年者は 24 歳以下、高齢者は 65 歳以上 ※車両台数（原付以上）は各年 3 月末現在

過去 5 年間の主な交通事故発生状況

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
子 供	件数	402	324	253	220	227
	死者数	0	0	0	0	0
	傷者数	468	379	309	261	266
高 齢 者	件数	1,081	930	742	654	570
	死者数	27	22	20	24	18
	傷者数	1,166	1,011	785	701	596
歩 行 者	件数	820	692	549	513	505
	死者数	15	19	15	13	18
	傷者数	832	693	553	513	496

	区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
自転車	件数	946	842	664	586	624
	死者数	7	5	4	5	3
	傷者数	952	843	665	588	630
若年運転者	件数	937	743	588	586	559
	死者数	6	8	5	7	1
	傷者数	1,249	927	765	739	691
高齢運転者	件数	1,458	1,294	1,148	1,002	1,076
	死者数	16	12	14	13	13
	傷者数	1,752	1,565	1,402	1,148	1,271



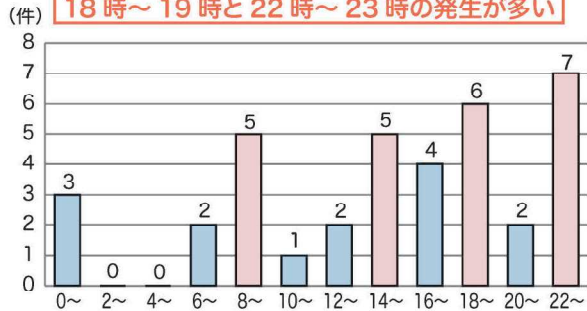
「運転は ゆとりとマナーの ニ刀流」

交通死亡事故発生状況

いつ？

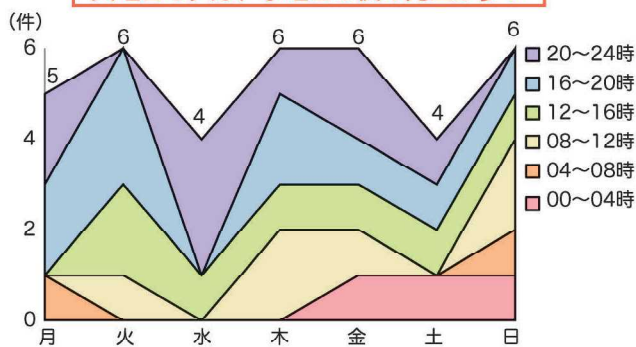
●時間帯別発生状況

18時～19時と22時～23時の発生が多い



●曜日・時間別発生状況

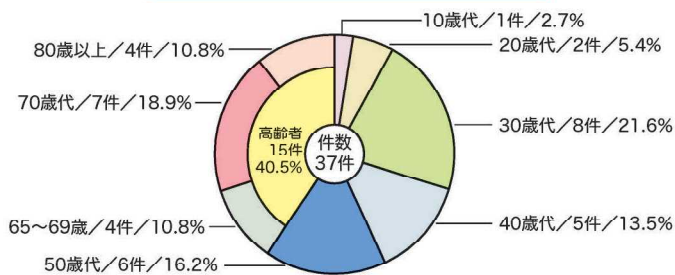
火曜日の夕方、水曜日の夜の発生が多い



だれが？

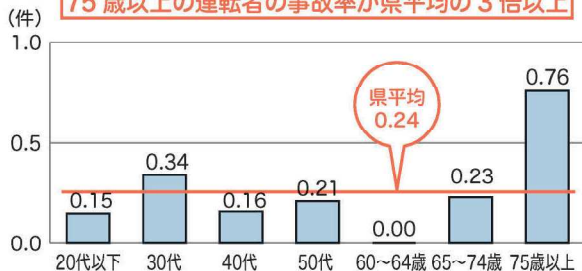
●第1当事者の年代別発生状況

30歳代と高齢者による事故が多い



●免許人口1万人当たりの発生状況

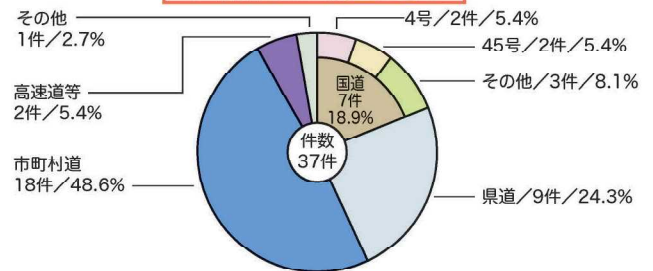
75歳以上の運転者の事故率が県平均の3倍以上



どこで？

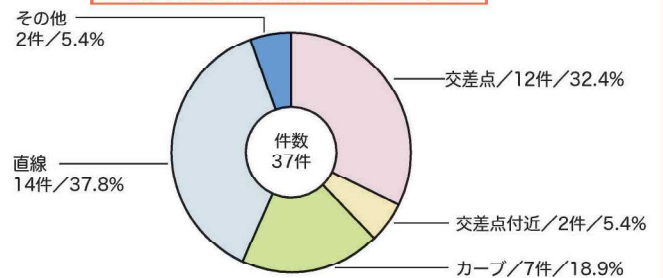
●道路別発生状況

市町村道での発生が多い



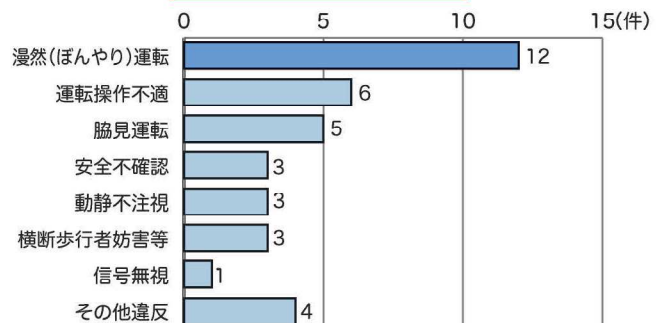
●道路形状別発生状況

直線道路、交差点での発生が多い



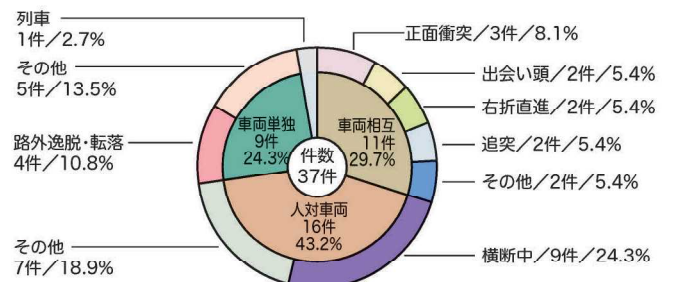
どんな原因で？

漫然運転による事故が多い



どんな事故？

横断中の事故が多い

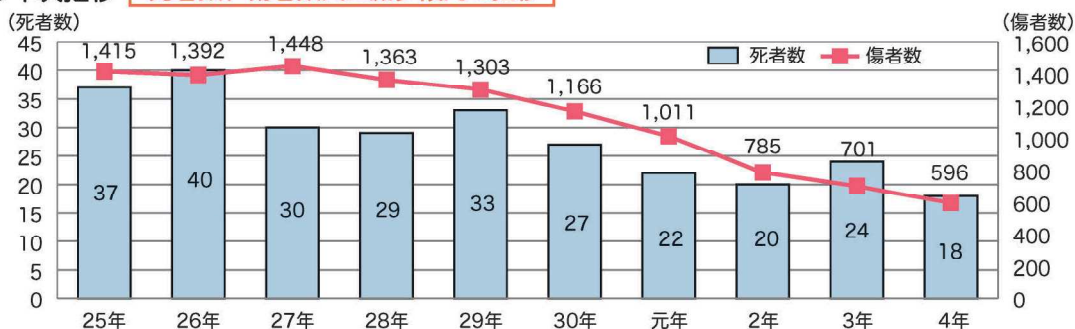


「ペだるこぐ ぼくのあいぼう へるめっと」

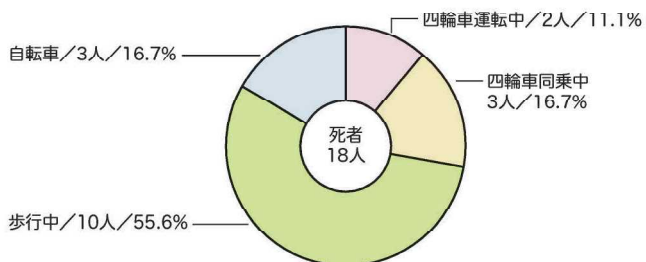
高齢者の事故

高齢者が死傷した交通事故

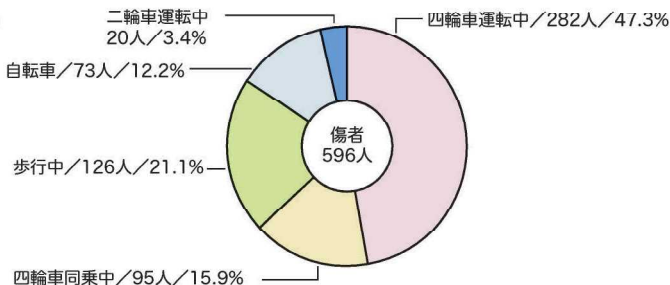
● 高齢死傷者の年次推移 死者数、傷者数共に減少傾向で推移



● 状態別死者数 歩行中が5割以上を占める



● 状態別負傷者数 四輪車運転中が5割近くを占める



高齢運転者の事故

原付以上を運転する高齢者が第1当事者となった（起こした）交通事故

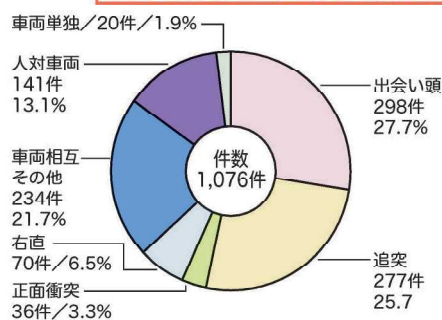
● 高齢運転者事故の年次推移

死者数は横ばい、発生件数は減少傾向で推移



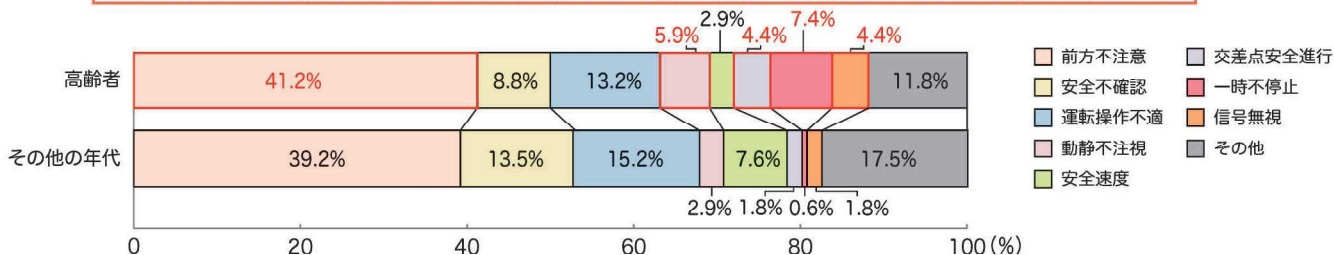
● 高齢運転者事故の形態

出会い頭事故・追突事故が多い



● 死亡事故の違反・原因割合（平成30年～令和4年）

他の年代と比べ、前方不注意・動静不注視・交差点安全進行・一時不停止・信号無視の割合が高い

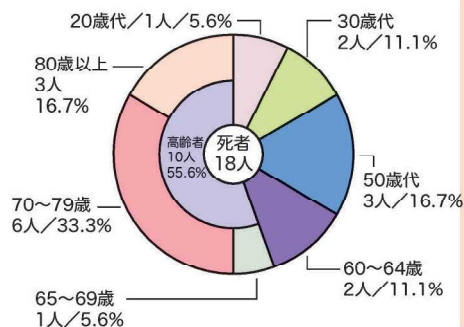


「あげた手は いのちをしらせる 警報器」

歩行者事故

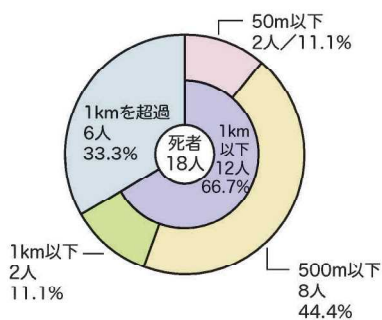
歩行中死者の年代別

歩行中死者の5割以上が高齢者



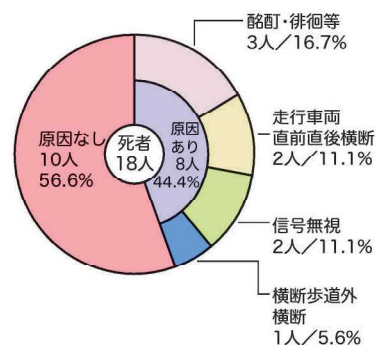
歩行中死者の自宅からの距離

自宅から1km以下が6割以上



歩行中死者の原因別

死者の4割以上に原因あり

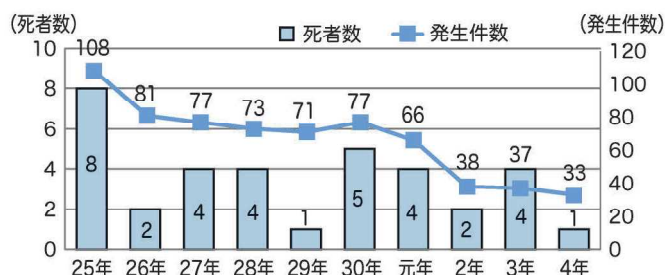


飲酒運転事故

※第1当事者が原付以上の事故

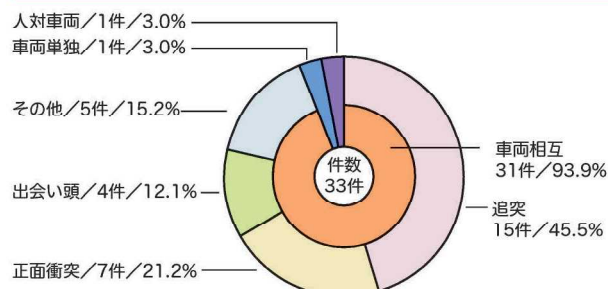
飲酒運転事故の発生推移

平成26年以降は、100件以下で推移



事故類型別発生状況

ほとんどが車両相互の事故で、追突が全体の4割以上



区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生件数	108	81	77	73	71	77	66	38	37	33
死者数	8	2	4	4	1	5	4	2	4	1
負傷者数	126	108	104	91	97	98	91	55	49	50

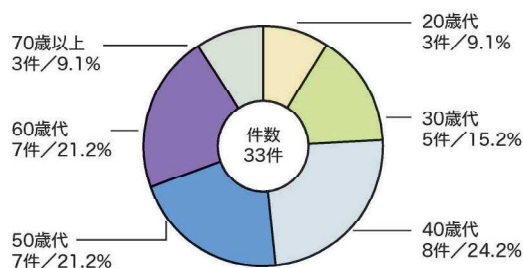
時間別発生状況

12時～14時の発生が多い



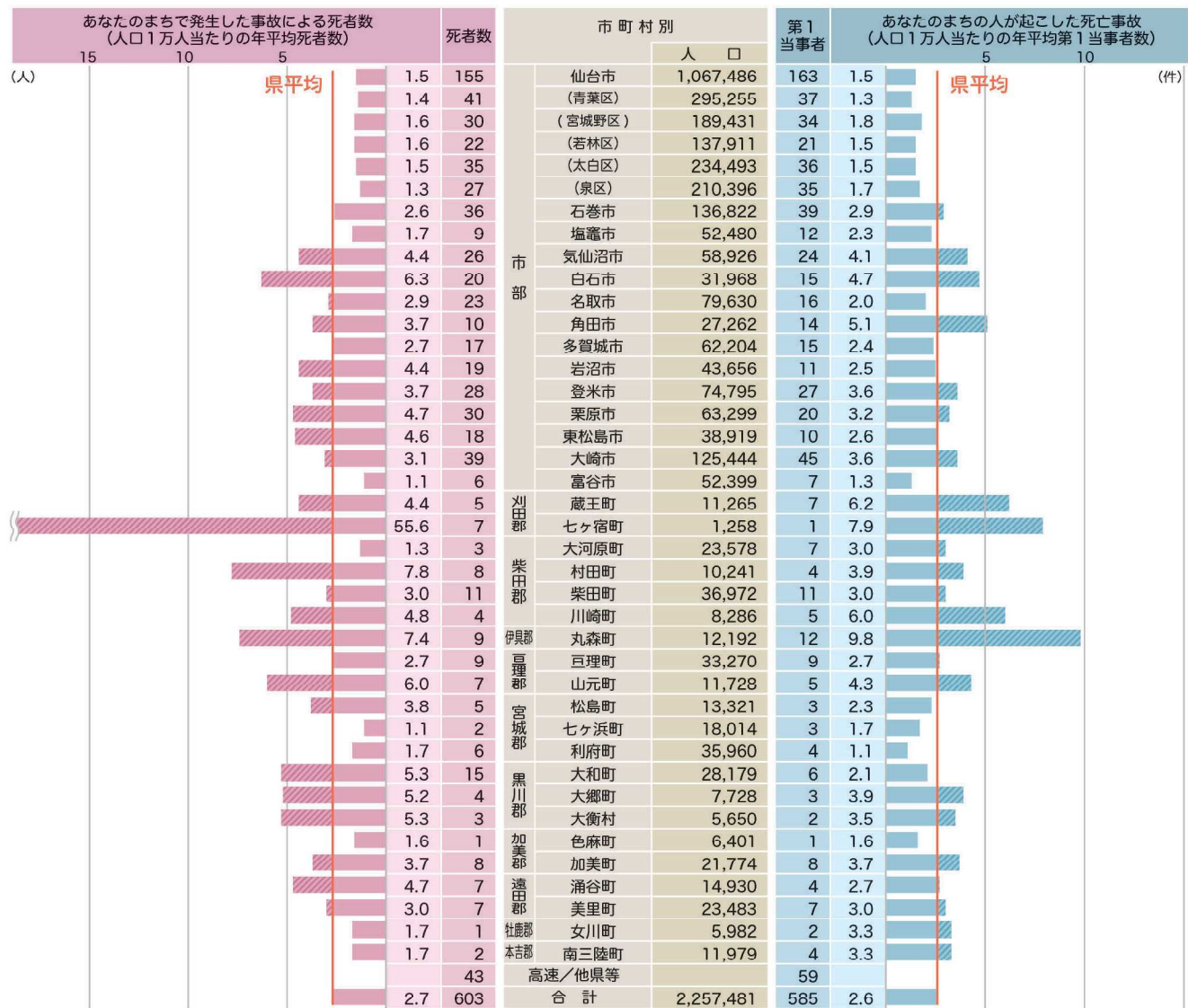
第1当事者の年代別発生状況

40歳代～60歳代による事故が多い



「もちましよう 心の余裕と 車間距離」

過去10年間の市町村別交通事故発生状況（平成25年～令和4年）



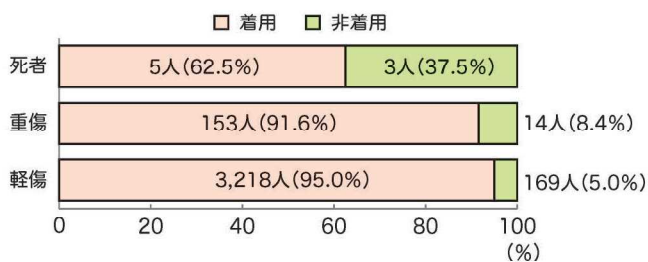
※人口は、令和4年12月末現在の住民基本台帳人口（宮城県）

※富谷市は旧黒川郡富谷町を含む

シートベルトの着用状況（令和4年）

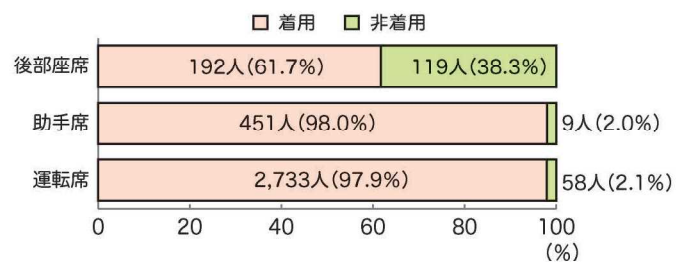
死傷者別シートベルト着用率

けがの程度が重いほど着用率が低くなっている



乗車別シートベルトの着用率

後部座席の着用率が極めて低い



交通ルール 守るあなたが 守られる